

児童と高校生を対象に

青年部が田植え体験学習を実施



▲お兄さん・お姉さんと一緒に田植えをする児童

向能代小学校の5年生86名を対象とした、JA青年部北支部による農業体験学習が5月29日、能代養護学校近くの田んぼで行われました。

食と農の重要性を知ってもらおうと、毎年開催されているこの取り組み。今年は能代西高校3年生が向能代小学校児童とともに、田植えから稲刈りまでを体験します。田植え作業では児童たちが高生のサポートを受けながら、一株一株丁寧に植えていきました。

道の駅「ふたついで

自慢のグルメをPR



▲好天に恵まれた会場には多くの観光客が訪れた

能代山本地区や近隣市のグルメ店が集結した、「第2回うまいもの大集合in二ツ井」が4月28日と29日の両日、道の駅「ふたついで」で開催されました。

『きみまち 桜まつり』の開催期間中に行われ、今回も豚なんこつや牛バラホル焼きなど、各地区自慢の料理が販売されました。

またラジオパーソナリティの藤田友朋さんがイベントを盛り上げるなど、今年も大賑わいの2日間となりました。

農産物の大切さを実感

児童らが農作業を体験



▲ネギ定植機ひっぱりくんで定植作業を行う児童

子どもたちに農産物の大切さを実感してもらおうと、JAは淳城南小学校児童61人を対象に、農業体験を実施しました。

この日は年4回行われる農作業体験の初回で、ジャガイモとネギの植え付けを体験。またJAから『農業と環境』等について説明している、補助教材も寄贈されました。中には初めて植え付けをする児童もあり、女性部員や農業技術センター職員に聞きながら、楽しく農作業を行っていました。

超神ネイガーと一緒に

交通ルールを学ぶ



▲ネイガーと一緒に横断歩道を渡る児童

JA共済が主催する、『超神ネイガー』の交通安全教室が5月9日に能代感恩講保育所で、また18日に愛慈幼稚園でそれぞれ開催されました。

このうち能代感恩講保育所では、超神ネイガーなどがショートを交えて、車道への飛び出しと道路付近での遊びの危険性、横断歩道を渡る際の左右確認の重要性を伝えました。

児童たちは地元ヒーローからの指導に、目を輝かせながら、交通ルールを学んでいました。